

Auth Reject-Unauthorized SAID エラー メッセージと 12.2(8)BC1 における BPI 設定変更

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[DOCSIS 1.0 ベースのBPI 設定への変更について](#)

[ベースライン・プライバシー・コンフィギュレーション・オプション・タイプ17 が使用されない場合の徴候](#)

[ベースラインプライバシー設定オプションタイプ17 を設定する方法](#)

[結論](#)

[関連情報](#)

概要

[データオーバーケーブル サービス インターフェイス仕様 \(DOCSIS \) ケーブル モデムとケーブル モデム終端システム \(CMTS \) に関連する標準を規定する団体である CableLabs は、CMTS が DOCSIS 1.0 ケーブル モデムに、モデムと CMTS 間のベースライン プライバシー インターフェイス \(BPI \) の暗号化の確立を許可する方法に重要な変更を加えました。これらの必須の変更により、12.2\(8\)BC1 より前の Cisco IOS® のリリースで動作する DOCSIS コンフィギュレーションファイルを使用している一部のケーブル モデムは、オンラインにできなくなる可能性があります。また、CMTS で次のメッセージが生成される場合があります。](#)

[%UBR7200-3-AUTH REJECT UNAUTHORIZED SAID: <132>CMTS\[Cisco\]:<66030104>](#)

[Auth Reject - Unauthorized SAID. CM Mac Addr <0081.9607.3831>](#)

この問題を解決し、新しい変更に適応する方法は BPI 設定 オプションの少なくとも 1 つがケーブルモデムによってダウンロードされる DOCSISコンフィギュレーションファイルで規定されることを確かめることです。

この資料はこの変更から影響を受けるシステムで新しい BPI 設定仕様に準拠するために見られる現象をすぐに DOCSISコンフィギュレーションファイルをアップデートする方法を記述したものです。

はじめに

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

前提条件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco IOS Release 12.2(8)BC1 および それ 以降。
- uBR10000、uBR7200 および uBR7100 シリーズ CMTS を含むすべての Cisco CMTS 製品。
- Cisco DOCSIS Customer Premises Equipment (CPE) コンフィギュレータツールのすべてのリリース。
- この資料は DOCSIS 1.0 モードで操作するために提供されるケーブルモデムにだけ適用し DOCSIS 1.0 モード BPI を使用します。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

DOCSIS 1.0 ベースのBPI 設定への変更について

BPI 仕様の最新の修正に新しい要件があります; ケーブルモデムが DOCSIS 1.0 モードで BPI を実行する必要がある場合提供した場合 BPI コンフィギュレーションの設定オプションの種類 17 はケーブルモデムからの DOCSISコンフィギュレーションファイルおよびそれに続く登録要求にある必要があります。

変更の詳細は CableLabs Engineering Change Notice RFI-N-02005 で見つけれられるかもしれません。この資料は CableLabs 利用可能な登録済みの参加要素だけです。 [CableLabs](#) を詳細については参照して下さい。

12.2(8)BC1 に前の CMTS Cisco IOS のリリースは BPI 設定 オプションと登録するのに BPI を使用するように DOCSIS 1.0 モードで提供されたケーブルモデムを必要としませんでした。12.2(8)BC1 およびそれ以降から、余分 BPI 設定 オプションを含むことは必須です。

ベースライン・ プライバシー・ コンフィギュレーション・ オプション・ タイプ17 が使用されない場合の徴候

ケーブルモデムが DOCSIS 1.0 モードで動作し、BPI を使用するために提供されるが BPI 設定 オプションが規定されない場合、詳しい (pt) 状態に達しません。しかしそれらは達するようです。それらはオフ・ラインで落ちるすぐによろであるかもしれません。ケーブルモデムが CMTS と BPI パラメータをネゴシエートし始めると同時に CMTS のコンソールで次のエラーメッセージが現れるかもしれません:

```
uBR7246VXR# term mon !--- Necessary for a Telnet session. uBR7246VXR# 01:27:42: %UBR7200-3-
AUTH_REJECT_UNAUTHORIZED_SAID: <132>CMTS[Cisco]:<66030104> Auth Reject - Unauthorized SAID. CM
Mac Addr <0090.9607.382f> 01:27:50: %UBR7200-3-AUTH_REJECT_UNAUTHORIZED_SAID:
<132>CMTS[Cisco]:<66030104> Auth Reject - Unauthorized SAID. CM Mac Addr <0090.9607.3831>
01:27:55: %UBR7200-3-AUTH_REJECT_UNAUTHORIZED_SAID: <132>CMTS[Cisco]:<66030104> Auth Reject -
Unauthorized SAID. CM Mac Addr <0050.7366.12fb> 01:27:57: %UBR7200-3-
```

AUTH_REJECT_UNAUTHORIZED_SAID: <132>CMTS[Cisco]:<66030104> Auth Reject - Unauthorized SAID. CM Mac Addr <0050.7366.2223>

デバッグをに適用することによってケーブルモデムが BPI ネゴシエーションを行えないなぜかモデム自体が BPI を始めることを試みるが BPI を実行するためにケーブルモデムが正しく設定されないことを CMTS が主張することがわかる場合があります詳しく分析して下さい。

uBR7246# debug cable privacy CMTS privacy debugging is on May 23 01:39:27.214: CMTS Received AUTH REQ. May 23 01:39:27.214: Auth-Req contains 1 SID(s). May 23 01:39:27.214: SIDs are not provisioned to run Baseline Privacy. May 23 01:39:27.214: Unauthorized SID in the SID list May 23 01:39:27.214: Sending KEK REJECT. 01:31:06: %UBR7200-3-AUTH_REJECT_UNAUTHORIZED_SAID: <132>CMTS[Cisco]:<66030104> Auth Reject - Unauthorized SAID. CM Mac Addr <0030.96f9.65d9>

注: 提供される上のデバッグでは provisioned ように誤まって綴られます。装飾的な不具合は、[CSCdx67908](#) ([登録ユーザのみ](#))、IOSバージョン 12.2(8)BC1 に発生するこの問題に対処するために上がりました

[ベースラインプライバシー設定オプションタイプ17 を設定する方法](#)

Cisco DOCSIS CPE Configurator ツールを使用する、DOCSIS 1.0 モードで動作するケーブルモデムのための DOCSISコンフィギュレーションファイルは次のいずれかのオプションを少なくとも規定によって含めるためにコンフィギュレーション ファイルに BPI 設定 オプションを修正することができます。これらのオプションすべては Cisco DOCSIS CPE Configurator ツールの **Baseline Privacy** タブの下にあります。また各パラメータのデフォルト値はリストされています

ベースライン プライバシー コンフィギュレーション オプション	デフォルト値
Authorize Wait Timeout	10
Reauthorize Wait Timeout	10
猶予時間を承認して下さい	600
Operational Wait Timeout	10
Rekey Wait Timeout	10
TEK 猶予期間	600
Authorize Reject Wait Timeout	60

従って SA Map Wait Timeout および SA Map Max Retries が DOCSIS 1.1 モードだけで、および動作するのであることに、ケーブルモデムに特定 DOCSIS 1.0 モードで動作するケーブルモデムのための DOCSISコンフィギュレーションファイルで規定されてはなりません注目して下さい。

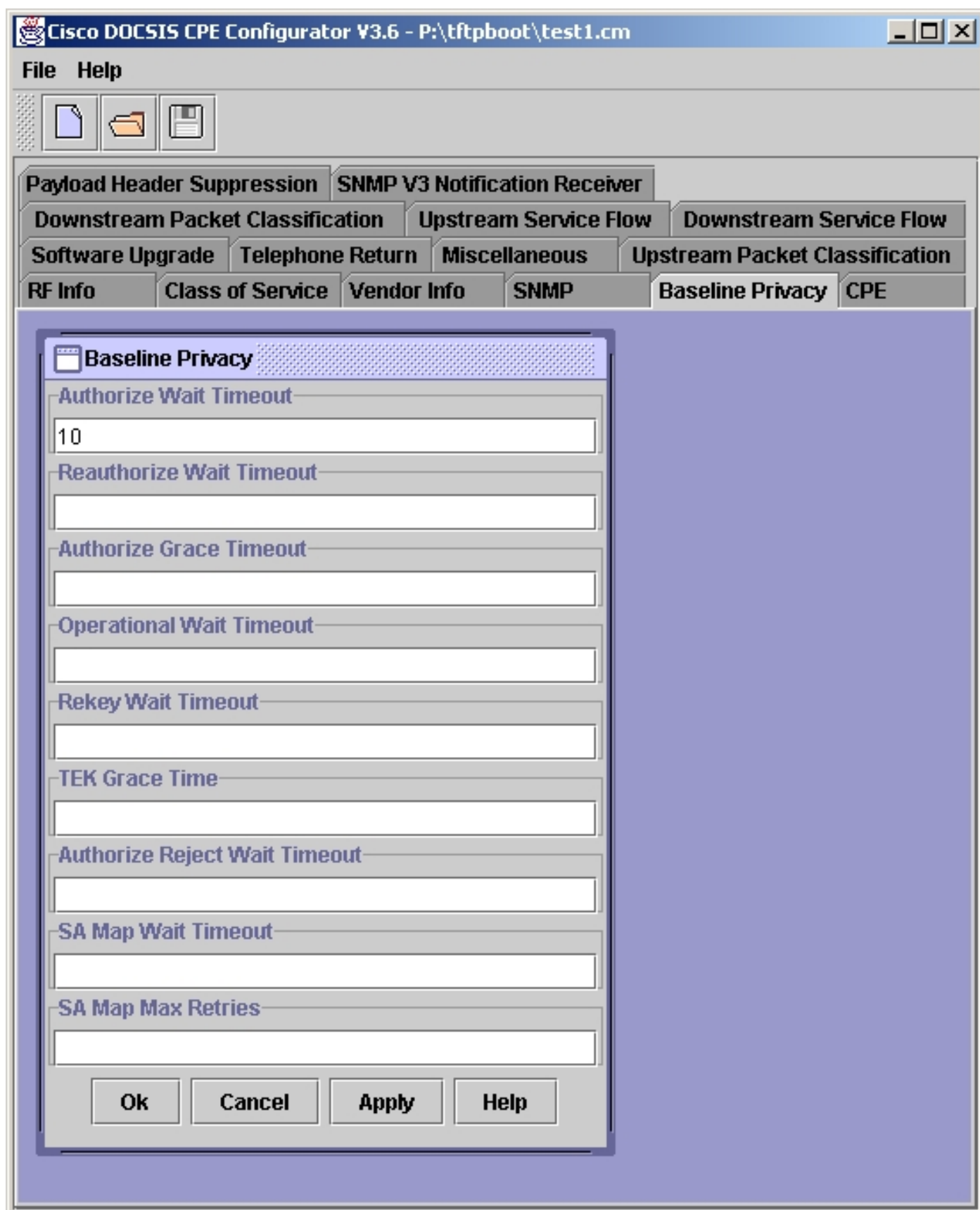
注: 上記の BPI 設定 オプション **Type 17** 値がデフォルトであるが、まだ BPI 設定 オプション **Type 17** を有効にするために DOCSIS CPE Configurator ツールの値の 1 つを規定する必要があります。

さまざまなツールを使用する方法を Cisco DOCSIS CPE Configurator ツールを使用してこれらの値の 1 つまたは多数を設定するのに論議する 2 つの例は下記に記載されています。DOCSISコンフィギュレーションファイル エディタまたはビルダーの他のフォームも使用されるかもしれません。

例- 1 つのパラメータだけの指定

この例ではこの1つの値を設定する 10.というデフォルト値に **Authorize Wait Timeout** パラメータを設定するのに、DOCSISコンフィギュレーションファイルに Cisco DOCSIS CPE Configurator GUI が配置します必須 BPI 設定 オプションを使用されています。

グラフィックは下記の DOCSISコンフィギュレーションファイルに BPI 設定 オプションを挿入するパラメータの1つを表示します。

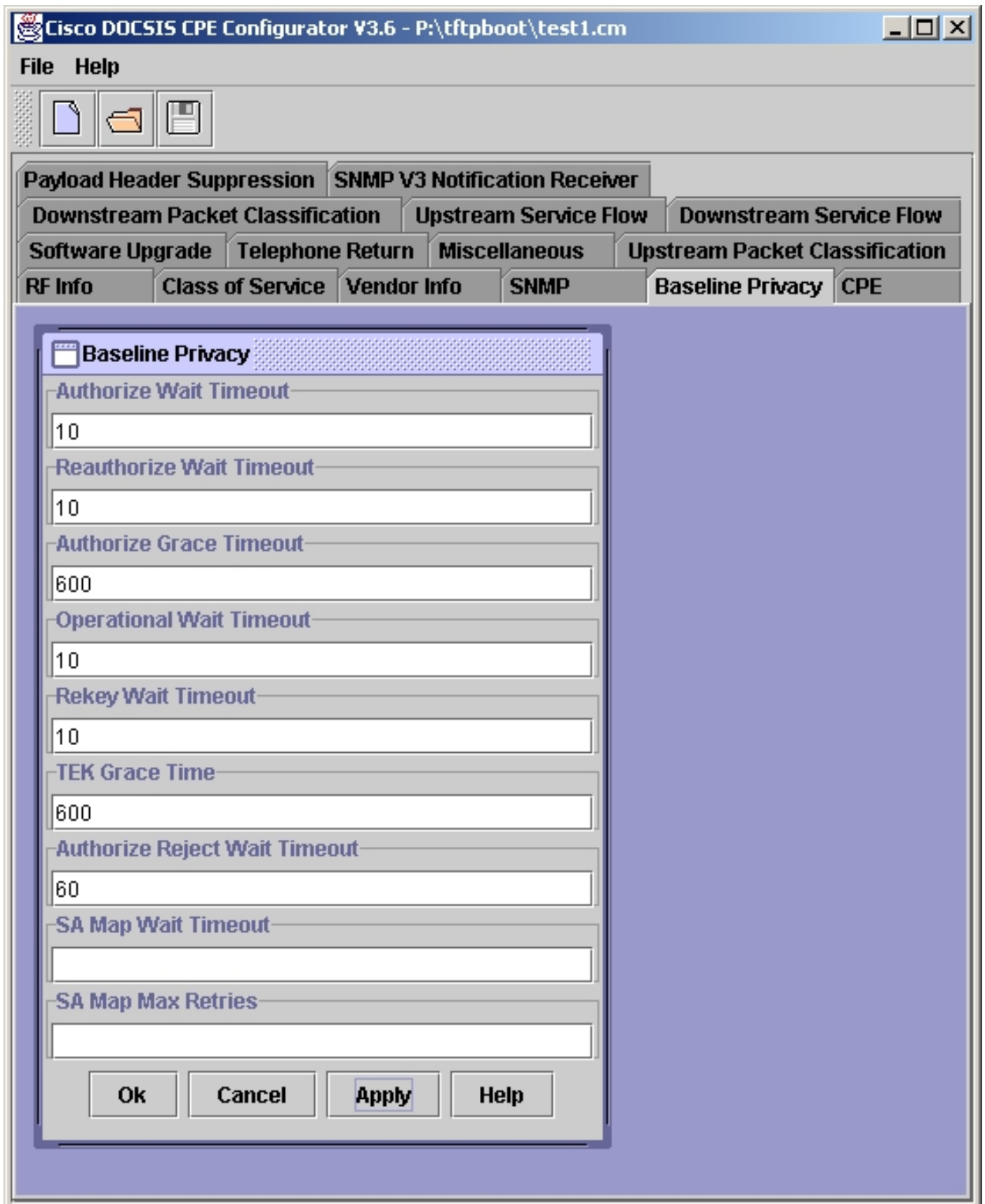


このフィールドが入力されたら、ボタンを『Apply -> OK』を選択して下さい。標準として DOCSISコンフィギュレーションファイルを保存して下さい。

例- すべてのパラメータの指定

この例ではデフォルト値へ BPI 設定 オプションの一部であるパラメータすべてを設定するのに、Cisco DOCSIS CPE Configurator GUI が使用されています。 **SA Map Wait Timeout** および **SA Map Max Retries** フィールドが入力されないことに注意深く注目して下さい。これらのフィールドは DOCSIS 1.1 モードだけで動作するケーブルモデムに特定であり従って、DOCSIS 1.0 モードで動作するケーブルモデムのための DOCSISコンフィギュレーションファイルで規定されてはなりません。

グラフィックは下記の BPI 設定 オプションの一部であるパラメータすべてを表示します。



これらのフィールドが入力されたら、『Apply -> OK』を選択して下さい。標準として DOCSISコンフィギュレーションファイルを保存して下さい。

結論

Cisco は CMTS 製品の uBR スイートが可能な限り DOCSIS仕様の最新バージョンに同様に密接

に保存されることを確かめるように努力します。この戦略により下位互換性の短期損失を引き起こすか、またはまれに迷惑をかけるようであるかもしれない間、長期的に Cisco CMTS 機器を展開するサービスプロバイダーが同様に対応可能なサードパーティ DOCSIS 製品とのインターオペラビリティの確実である場合もあるようにします。

関連情報

- [Cisco CMTS での DOCSIS 1.0 ベースライン プライバシ](#)
- [CableLabs ケーブルモデムはホームページを写し出します](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)